

# 未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

## 新年度、順調にスタート！

新年度がスタートして、一か月半が過ぎました。四月は、新しい環境に慣れること、新しい担任や学校にいる先生たちと信頼関係が構築できるような学校・学級づくりを進めてきました。子どもたちは、この一か月ほどで随分成長し、今までは違う姿を見せています。そして、どの子も、一つ上がった学年の重みを感じているようで、急激に成長したような気がします。特に、六年生は、学校のリーダーとして力を発揮しています。

また、今年度、一年生はスタートカリキュラムを実施しています。スタートカリキュラムとは、「小学校へ入学した子供が、認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム」と文科省からのリーフレットに書かれています。幼児教育から小学校教育への移行はとて大変なことだと思っ

ています。三月まで認定こども園で体験活動が中心の生活を送っていた子どもたちが、ランドセルを背負い、学校まで



名刺交換ゲームを楽しむ1年生

毎日歩いて登下校することだけでも、大きな変化です。ましてや、机と椅子という空間で、四十五分間ずっと座っていることも、初めての経験です。

今まで、小学校入学の学習の定着が、六年間の基礎になると、丁寧に指導してきたつもりですが、無理に引っ張り上げていたところがあったような気がします。その結果、四十五分間じっとしていることができなかったり、たち歩きや手遊びなど集中が切れてしまったりすることも多々ありました。何より、学校が面白くないという子たちは、

信頼関係を構築せずに型にはめる教育をしてきたことが関係しているのではないかと考えます。一年生の四月、子どもたちがここにしている時間を増やしていくために、朝の時間と一時間目を「ここにこタイム」とし、子どもたちの集中できる短時間の活動を取り入れました。朝のあいさつや健康観察から始まり、絵本の読み聞かせやリズム遊びなどを毎日の活動に位置付け、そこから、自己紹介や学校たんけんなどの活動へと広がっていきました。学校たんけんでは、目を輝かせて取り組んでいる姿がありました。

まだ始まったばかりですが、一年生から六年生まで、すべての子どもたちが安心して登校し、楽しく学び、また明日も学校へ行きたいと意欲を持てる教育活動を展開していきたいと思えます。



縦割り班で楽しく遊ぶ子どもたち

## ふれあい掲示板

本校では、児童用玄関（昇降口）に、ふれあい掲示板を設置しています。

地域のことを子どもたちに広めていけるように設置しました。新聞記事が主な掲示になっていますが、お友だちが頑張っていることや近所の人のすごい記事などを見て、みんな嬉しそうにしています。

今年もたくさんの方々の幸世に関する話題を掲示して、子どもたちがこの幸世地区の「人・もの・こと」を誇りに思えるような取組を発信していきたいと思えます。



児童会の目標が決まりました。  
進んで挑戦・前向きな北っ子  
～笑顔・返事・全力～  
子どもたちが考え動いていく姿はとても頼もしいです。今年も児童会を中心とした特別活動も頑張っています。